

金沢美術工芸大学 大学院特別講義 (公開講座)

「正倉院のしごとと一宝物を守り伝える舞台裏」

講師：西川明彦 「宮内庁正倉院事務所・前所長」

『正倉院のしごと』は一義的には正倉院宝物というものの言わぬ相手のそばに寄り添って見守り、後世に伝えることです。しかし、形のある「もの」を守るために奈良時代から続けてきた勅封や曝涼といった形のない「こと」を継承することも重要な“しごと”です。



日時：11月8日(金) 17:40～19:10

場所：3号館 1F 101講義室 *全学年対象 一般の方もご聴講いただけます。

西川明彦 にしかわ あきひこ 先生 プロフィール

1961年京都生まれ。1986年 京都市立芸術大学美術学部美術科日本画専攻卒業。1988年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。2015年博士(美術)京都市立芸術大学(論文博士)。

1988年 宮内庁正倉院事務所保存課勤務。整理室長、調査室長、保存科学室長、保存課長を経て2017年4月より所長就任。2022年 定年退職後保存課調査室研究員として再任用。
2024年NHK「正倉院の扉」(Eテレ5分番組)にレギュラー出演。

主要著書;『日本の美術486 正倉院宝物の装飾技法』(至文堂 2006)、
『日本の美術523 正倉院の武器・武具・馬具』(ぎょうせい 2009)、
『正倉院宝物の構造と技法』(中央公論美術出版 2019)、
『正倉院のしごと』(中央公論新社 2023)ほか。

